

気をつけよう！感染症（令和8年第1号）

細菌やウイルスによる感染性胃腸炎に注意！！

例年、1月から2月に感染者が増えていきます！



胃腸炎症状が生じる主な感染症

【原因】

○細菌

下痢原性大腸菌(腸管出血性大腸菌など)、赤痢菌、コレラ、チフス、カンピロバクター、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、ウェルシュ菌、セレウス菌など



○ウイルス

ノロウイルス、ロタウイルスなど

【感染経路】

○汚染された水や食品からの感染(いわゆる食中毒)

○病原体が付着した手で口に触れることによる感染

【症状】

発熱、下痢、血便、腹痛、恶心、嘔吐など

無症状から重篤な合併症を起こし死に至るものまで様々です。

～ 感染を広げないために～



①手洗いをしっかりと

食事の前、トイレの後など石けんでよく洗い流水で十分に流しましょう。

②食品からの感染を防ぐ

食中毒予防のため、「つけない（清潔、洗浄）」「増やさない（迅速、冷却）」「やっつける（加熱）」の3原則を守りましょう。

③人からの感染を防ぐ

感染した人の便やおう吐物は速やかに処理して二次感染を防止しましょう。

おう吐物などの処理

基本は使い捨て手袋、エプロン、マスクを着用して、おう吐物などをペーパータオル等で静かにふき取り、塩素消毒後(次亜塩素酸ナトリウムを薄めた消毒液)、水拭きをします。換気をしながら作業をすることも大切です。

おう吐物の処理方法の動画はこちら→

